



Mutsu General Hospital

むつ総合病院



## 研修医日記

作成者：芦田 雄汰朗（1年次）

釜臥山が紅く染まり、肌寒い季節となりました。

現在、整形外科で研修しております。骨折、膝や腰などの疼痛といったよくみられる症候、common disease の診療、治療を通して、どの診療科でも重要な思考や手技が得られていると感じます。もともと苦手意識のあった分野ではありましたが、先生方からご指導を賜り研鑽に励んでおります。

さて、未だに家にいる時間が多い生活が続いておりますが、この研修医日記を御覧の皆様はどのようにお過ごしでしょうか。

趣味を模索している最中の私ですが、相変わらずコレというものに出会えていないのが現状です。秋といえば、「スポーツの」や「読書の」など色々な接頭語がつく季節ですね。趣味をするには丁度良い季節ということでしょうか。しかしながら、過去を振り返っても季節によって何かを始めたことがなく、ただ寒くなった、暑くなったと過ごしやすさについて考えることが多かったような気がします。泳げず、ウインタースポーツも出来ない私は季節を楽しみに待つ感覚が乏しいのかもしれない。

秋というか、11月の祝日に文化の日がございます。剣道の大会がテレビで見られる、という点で剣道部であった私にとってはとりわけ特別に感じる日であります。といっても、スポーツ観戦を元々しないためか、素晴らしい一瞬を見逃すことが多く、自分の集中力のなさを反省することがしばしばあります。部活でしていたことの先の先にあのような世界が広がっていることを思うと、剣の道という表現は言い得て妙だなと感心させられます。

以上です。

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。